

2017年2月10日

報道関係各位

認定特定非営利活動法人 地域精神保健福祉機構・コンボ

日本イーライリリー株式会社

EL17-7

「第13回精神障害者自立支援活動賞(リリー賞)」受賞者決定!

「当事者部門」「支援者部門」の2部門で計4団体が受賞

2017年3月10日(金) 表彰式&セミナー 開催

【セミナー参加者募集中】テーマは「精神障害のある親を持つ子どもの支援」

認定特定非営利活動法人 地域精神保健福祉機構・コンボ(事務局:千葉県市川市、以下「コンボ」)は、「第13回精神障害者自立支援活動賞(通称:リリー賞)ーひとりひとりの輝くあしたへー」を募集し、97件の応募の中から、選考委員会により、特に優れた活動を行っている当事者部門2団体、支援者部門2団体、計4組の受賞者を決定しました。2017年3月10日(金)に開催する表彰式にて、受賞者に盾と副賞を授与します。

式に続いて開催するセミナー(入場無料)では、座長に埼玉県立大学看護学科の横山恵子教授を迎え、「精神障害のある親を持つ子どもの支援」を取り上げます。まず支援者の立場から、リリー賞「支援者部門」の受賞者でもある「親&子どものサポートを考える会」(第9回受賞)と「NPO法人ふるすあるは」(第12回受賞)より、それぞれの取り組みをご紹介します。また、子どもの立場から、子どもたち自身によるピアサポート活動について発表していただきます。続くディスカッションでは、精神障害のある親を持つ子どもたちへの支援を今後どのように広げていくか、その課題を整理します。

つきましては、リリー賞表彰式およびセミナーの告知活動へのご協力をお願いするとともに、当日の取材についてご案内申し上げます。ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

「第13回精神障害者自立支援活動賞(リリー賞)」受賞者

<当事者部門> 副賞100万円

北海道 NPO 法人 精神障害者回復者クラブすみれ会

精神障害の当事者のみで運営する日本初の共同作業所を30年間運営。ピアスタッフの草分け

大阪府 一般社団法人 UnBalance (アンバランス)

発達障害の当事者によるピアサポートグループとしてユニークで多面的な活動を展開

<支援者部門> 副賞50万円

福島県 会津若松市立川南小学校

精神障害者の福祉事業所と18年間にわたり交流、子どもたちの啓発と当事者の地域参加を応援

大阪府 高槻精神障害者スポーツクラブ (愛称:WEARE ウィアー)

精神障害の当事者によるフットサル、バレーボールチームを結成、スポーツを通じた社会参加を支援

<精神障害者自立支援活動賞(通称:リリー賞)>

「リリー賞」は、精神障害者の社会参加や地域社会での自立を促す活動を行っている当事者・当事者団体を表彰する賞として、2004年に設立されました。第9回より「当事者部門」に加えて「支援者部門」を設立し、医療、福祉だけでなく、地域コミュニティ、教育など、さまざまな分野・立場で、精神障害者の社会参加・自立を支援する個人やグループ・団体を対象としています。この表彰を通じて、精神障害者の社会参加・自立を支援する独自性のある優れた活動を社会へ広く紹介し、統合失調症をはじめとする精神疾患に対する正しい理解を深める一助となることを目的としています。

■一般からのお問合せ先:

認定 NPO 法人 地域精神保健福祉機構(コンボ)・リリー賞係

TEL:047-320-3870/FAX:047-320-3871

〒272-0031 千葉県市川市平田 3-5-1 トノックスビル 2F

■報道関係者からのお問合せ先:

広報代理店 (株)トクス

TEL:03-3261-7715/FAX:03-3261-7174

担当:佐野、松木

第 13 回精神障害者自立支援活動賞(リリー賞) 表彰式・セミナー 開催概要

日 時： 2017 年 3 月 10 日(金) 13:00～16:30 (受付開始 12:30)

場 所： 東京国際フォーラム「ホール D7」(受付 6F)

(東京都千代田区丸の内 3 丁目 5 番 1 号 TEL:03-5221-9000)

主 催： 認定 NPO 法人地域精神保健福祉機構(コンボ)

協 賛： 日本イーライリリー株式会社

後 援： 健康日本 21 推進フォーラム、日本精神保健福祉連盟、全国精神保健福祉連絡協議会、
全国精神保健福祉相談員会、日本精神科看護協会、日本精神保健福祉士協会、精神科
作業療法協会(POTA)、日本精神神経科診療所協会、全国精神障害者地域生活支援協議会、
全国精神障害者就労支援事業所連合会、全国精神保健福祉社会連合会

プログラム： ・13:00～ リリー賞表彰式 & 受賞者の活動紹介

・14:00～ 『こころの元気+セミナー』

●精神障害のある親を持つ子どもの支援 リカバリーにつながる支援を探る

土田 幸子(親&子どものサポートを考える会) 第 9 回リリー賞支援者部門受賞

細尾 ちあき(NPO法人ふるすあるは) 第 12 回リリー賞支援者部門受賞

田代 万由子(子どもの立場)

長谷川 麻依(子どもの立場)

座長) 横山 恵子 (埼玉県立大学看護学科)

参 加 費： 無料 (要事前申込)

定 員： 150 名

申込方法： ①氏名 ②郵便番号・住所 ③メールアドレス ④電話番号 ⑤お立場(当事者、家族、
福祉関係者、医療関係者、行政、その他) ⑥同伴者氏名(複数で参加の場合)を
記入の上、WEB・FAX・ハガキで下記までお申し込みください。先着順で参加券を送付
します。

申込締切： 2017 年 3 月 5 日(日)必着

※事前申込なしの当日参加はできません。希望者多数の場合はお断りをする場合があります。

申 込 先： (W E B) <http://eventregist.com/e/lilly13>

(F A X) 047-320-3871

(ハガキ) 〒272-0031 市川市平田 3-5-1-2F コンボ「リリー賞係」宛

「第13回精神障害者自立支援活動賞(リリー賞)」応募・選考 について

■募集期間 2016年9月1日～12月31日

■応募件数 当事者部門 61件
支援者部門 36件

■選考

「当事者部門」については ①当事者を主体とした取り組みであること、②独自性、③社会・医療・保健福祉へのインパクト、「支援者部門」については ①独自性、②社会・医療・保健福祉へのインパクト、③将来性の3点をそれぞれ主な選考基準として、以下9名の選考委員により2017年1月29日(日)に行われました。

【選考委員】(敬称略)

高橋 清久 (公益財団法人精神・神経科学振興財団理事長)
佐藤 光源 (医療法人恵風会高岡病院特別顧問)
中村 純 (産業医科大学名誉教授/特定医療法人北九州病院北九州古賀病院院長)
寺谷 隆子 (社会福祉法人 JHC 板橋会理事長/山梨県立大学人間福祉学部特任教授)
笠原 健 (第12回リリー賞受賞者)
藤野 英明 (コンボ理事/横須賀市議会議員)
大島 巖 (コンボ代表理事/日本社会事業大学学長)
伊藤 順一郎 (コンボ共同代表/メンタルヘルス診療所しっぽふぁーれ)
宇田川 健 (コンボ共同代表)

認定 NPO 法人地域精神保健福祉機構・コンボ(Community Mental Health & Welfare Bonding Organization)について

「精神障害をもつ人たちが主体的に生きて行くことができる社会の仕組みづくり」を目的とし、2007年2月に設立した NPO 法人です。「当事者の視点」を活動の主眼に据え、当事者、家族および専門職を対象とした情報提供や、ACT・家族心理教育・就労支援など科学的根拠にもとづくプログラムの実践および普及活動、そして、地域精神保健福祉の発展に資する活動などを主に行っています。

日本イーライリリーについて

日本イーライリリー株式会社は、米国イーライリリー・アンド・カンパニーの子会社で、人々がより長く、より健康で、充実した生活を実現できるよう革新的な医薬品の開発・製造・輸入・販売を通じて日本の医療に貢献しています。統合失調症、うつ、双極性障害、注意欠如・多動症(AD/HD)、疼痛、がん(非小細胞肺癌、膵がん、胆道がん、悪性胸膜中皮腫、尿路上皮がん、乳がん、卵巣がん、悪性リンパ腫、胃がん、結腸・直腸がん)、糖尿病、成長障害、骨粗鬆症、乾癬などの治療薬を提供しています。また、アルツハイマー型認知症、関節リウマチなどの診断薬・治療薬の開発を行っています。詳細はウェブサイトをご覧ください。 <http://www.lilly.co.jp>